

例題7の目的

- 流用入力により，新たに書誌レコードを作成する場合の手順を理解する。
- 書誌レコードの記述文法を習得する。
- 初号による書誌登録時の注意事項について理解する。
- USMARCS からの流用時の注意事項について理解する。

操作の流れ

(1) 書誌検索

総合目録データベースには求める書誌レコードがヒットしない（ただし，何度も検索キーを変えて検索する必要がある）。

USMARCS に求める書誌レコードがヒットする。

USMARCS の書誌レコードを表示させる。

(2) 書誌確認（同定）

データ内容を確認し，USMARCS の書誌レコードを流用して新たに書誌レコードを作成することにする。

現物に照らし合わせてデータを編集するため，全く一致する書誌レコードであるかどうかの判断をする必要はない。

(3) 書誌登録

書誌レコードの流用入力の手続きをとる。書誌レコードを正しく編集する。

初号による登録なので，出版開始年，初号巻次・年月次，初号出版日付など，もれなく記入する。

（著者名リンクフィールドにデータが存在しないため，リンク形成の必要はない。）

(4) 所蔵登録

新たに所蔵レコードを作成し，登録する。

(5) 登録終了

実際の業務では，郵送またはFAX またはE-mail にて，国立情報学研究所への報告（新規作成）を行う。